



(お知らせ)

東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針について

平成23年3月25日(金)
環境省災害廃棄物対策特別本部
直 通 : 03-5501-3152
代 表 : 03-3581-3351
課 長 : 奥主喜美 (内線 6120)
係 長 : 近藤慎吾 (内線 6809)
係 長 : 播磨哲平 (内線 6857)

被災者生活支援特別対策本部の下に設置された「災害廃棄物の処理等に係る法的問題に関する検討会議」において、「東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針」を取りまとめ、被災者生活支援特別対策本部長及び環境大臣から関係県知事に通知しましたので、お知らせいたします。

今般、被災者生活支援特別対策本部の下に設置された「災害廃棄物の処理等に係る法的問題に関する検討会議」(小川敏夫法務副大臣を座長とし、辻恵民主党法務部門会議座長、田島一成民主党環境部門会議座長及び内閣法制局、警察庁、法務省、国土交通省、環境省等の担当部局長で構成)において、「東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針」を取りまとめ、被災者生活支援特別対策本部長及び環境大臣から関係県知事に通知を行いました。

平成23年3月25日

〇〇県知事 〇 〇 〇 〇 様

被災者生活支援特別対策本部長 松 本 龍

環境大臣 松 本 龍

東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針
について

このたびの東北地方太平洋沖地震による甚大な被害に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災者の生活支援のために御尽力いただき感謝申し上げます。

今般、被災者生活支援特別対策本部の下に設置された「災害廃棄物の処理等に係る法的問題に関する検討会議」（小川敏夫法務副大臣を座長とし、辻恵民主党法務部門会議座長、田島一成民主党環境部門会議座長及び内閣法制局、警察庁、法務省、国土交通省、環境省等の担当部局長で構成）において、別添のとおり、「東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針」を取りまとめましたので、通知いたします。

貴管内市町村が東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等を行うに当たり、本指針を参考としていただけますよう、貴職におかれましては、本指針の周知方よろしくお願いいたします。

東北地方太平洋沖地震における損壊家屋等の撤去等に関する指針

標記は、人の捜索・救出、御遺体の捜索・搬出その他防疫・防火対策の必要性、社会生活の回復等のため、緊急に対処する必要性があるので、その処置についての指針を示すものである。

1. 作業のための私有地立入りについて

作業を行うための私有地への一時的な立入りについては、その所有者等に連絡し、又はその承諾を得なくても差し支えない。ただし、可能な限り所有者等の承諾を得、あるいは作業に立ち会っていただくことが望ましいことから、作業の対象地域・日程等の計画を事前に周知することが望ましい。

2. 損壊家屋等の撤去について

(1) 建物について

- 倒壊してがれき状態になっているものについては、所有者等に連絡し、又はその承諾を得ることなく撤去して差し支えない。
- 本来の敷地から流出した建物についても、同様とする。
- 敷地内にある建物については、一定の原形をとどめている場合には、所有者等の意向を確認するのが基本であるが、所有者等に連絡が取れない場合や、倒壊等の危険がある場合には、土地家屋調査士等の専門家に判断を求め、建物の価値がないと認められたものについては、解体・撤去して差し支えない。その場合には、現状を写真等で記録しておくことが望ましい。
- 建物内の動産の扱いについては、後記（４）による。

(2) 自動車について

- 外形上から判断して、その効用をなさない状態にあると認められるものは撤去し、仮置場等に移動させて差し支えない。その上で、所有者等が判明する場合には、所有者等に連絡するよう努め、所有者等が引渡しを求める場合は、引き渡す。それ以外の場合は、自動車リサイクル法に従って使用済自動車として処理を行う。
- 上記以外の自動車については、仮置場等に移動させた後、所有者等に連絡するよう努め、所有者等が引渡しを求める場合は、引き渡す。それ以外の場合の扱いについては、追って指針を示す。
- 上記いずれの場合においても、移動及び処理を行う前に写真等で記録しておくことが望ましい。
- 原動機付自転車についても、自動車に準じて処理する。
- 自動車内の動産の扱いは後記（４）による。

(3) 船舶

- 外形上から判断して、その効用をなさない状態にあると認められるものは撤去し、仮置場等に移動させて差し支えない。その上で、所有者等が判明する場合には、所有者等に連絡するよう努め、所有者等が引渡しを求める場合は、引き渡す。それ以外の場合は、廃棄する。
- 上記以外の船舶については、仮置場等に移動させた後、所有者等に連絡するよう努め、所有者等が引渡しを求める場合は、引き渡す。それ以外の場合の扱いについては、追って指針を示す。
- 移動が困難な船舶については、個別に所有者等と協議して対応する。
- 上記いずれの場合においても、移動及び処理を行う前に、写真等で記録しておくことが望ましい。
- 船舶内の動産の扱いは後記(4)による。

(4) 動産(自動車及び船舶を除く。)

- 貴金属その他の有価物及び金庫等については、一時保管し、所有者等が判明する場合には所有者等に連絡するよう努め、所有者等が引渡しを求める場合は、引き渡す。引き渡すべき所有者等が明らかでない場合には、遺失物法により処理する。
- 位牌、アルバム等、所有者等の個人にとって価値があると認められるものについては、作業の過程において発見され、容易に回収することができる場合は、一律に廃棄せず、別途保管し、所有者等に引き渡す機会を設けることが望ましい。
- 上記以外の物については、撤去し、廃棄して差し支えない。